

■「well-being（ウェルビーイング）」ってご存じですか

皆さんは「well-being（ウェルビーイング）」という言葉に耳にされたことはあるでしょうか。直訳では「幸福」「健康」という意味があるこの言葉が初めて登場したのは、1946年の世界保健機関（WHO）の設立時だそうです。現在、ウェルビーイングは企業の在り方や個人のワークライフバランスが見直される中、これからの時代の中心的な考え方として注目されています。

少し話題が逸れますが、国の第4期「教育振興基本計画（R5～9）」には「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」とあります。また、本年度からスタートした県の第4期「ひょうご教育創造プラン（R6～10）」には「……ウェルビーイングの向上や持続可能な社会の実現という視点が重要である。」とあります。

これらはまだ漠然としていますので、学校での具体的な取組については、次年度からスタートする豊岡市の「第5次とよおか教育プラン（R7～11）」を踏まえて考えていくことになりそうです。

欧米では、個人が能力を獲得できた際に大きな幸福感を感じると言われています。日本では、それに加えて、学校や地域でのつながりを重視する特徴があります。日本ではまだ定着していない「ウェルビーイング」という概念ですが、どうやら「人との関わり」がキーワードとなりそうです。

運動会で素晴らしい頑張りを見せたくれた府中っ子は、「読書の秋」で読み聞かせ隊による朝の読み聞かせで心を耕しています。

「スポーツの秋」でどんどん走ろう（持久走）に取り組み、歯を食いしばって長い距離を走ったり、頑張っている友達に声援を送ったりしています。

「芸術の秋」で、自分の作品と向き合い、習字や絵の作品作りに筆を走らせています。

このように自分だけではなく、友達等との関わりでウェルビーイングを向上させていますが、19日（土）に予定されている「ふるさとに学ぶ会」で、郷土のひと・もの・ことに触れ、ウェルビーイングがさらに向上することを期待しています。保護者の皆さん、地域の皆さん、引き続き、どうぞよろしくお願ひします。

（校長 山本 考一）



校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード：